

責任あるサプライチェーンのための
デューデリジェンス・ガイダンスに基づく報告書

2021年12月1日

理想科学工業株式会社

1. 企業情報

1-1. 会社名

理想科学工業株式会社 (RISO KAGAKU CORPORATION)

1-2. 所在地

〒108-8385 東京都港区芝五丁目34番7号 田町センタービル

1-3. 本報告の対象とする原料

すず、タンタル、タングステン、金

2. サプライチェーンに関する企業方針

当社は、紛争地域および高リスク地域から直接的または間接的に原料として購入、使用することをサプライチェーンにおけるリスクと捉え、「紛争鉱物リスク」として取り組みます。

2-1. 指針

当社は自社が遵守すべき指針として、RISO コンプライアンス行動指針を制定しています。RISO コンプライアンス行動指針は、サプライチェーンの調達活動について「7. 公平・透明な調達活動の実施。私たちは、法令を遵守した常に公正で透明な調達を行います」と定めています。

3. 企業管理システム

3-1. 管理体制

- a) 当社は、「リスク・コンプライアンス委員会」を設置し、リスクマネジメントの継続的な改善・強化に取り組んでいます。
- b) リスク・コンプライアンス委員会は社長に直結したリスク・コンプライアンス担当執行役員の指揮下で、コンプライアンスプログラムの実行と継続的改善及びコンプライアンスの維持に関わる業務の執行を補助する機関です。
- c) 「リスク・コンプライアンス委員会」を通じ、コンプライアンス教育の継続的な改善・強化に取り組んでいます。
- d) 当社のコンプライアンス体制は、Web で公開しています。

URL <https://www.riso.co.jp/company/management/>

3-2. 管理システム

- a) 「リスク・コンプライアンス委員会」は、当社グループを取り巻くさまざまなリスクが発生した場合の影響度などを分析・評価します。
- b) 特定した重大リスクについては、個別にリスク管理プログラムを策定し実行することで、リスクの低減・回避に努め、統合的なリスクマネジメントを推進しています。

4. リスクの特定と対処

Responsible Minerals Initiative (RMI) が定める仕組みやツールを用いて、製品が含有する鉱物の来歴調査を進めます。

4-1. リスク管理するための情報入手先

- a) RMI (<http://www.responsiblemineralsinitiative.org/>)
※当社は SOR の紛争非関与監査プログラム (Responsible Minerals Assurance Process) を推進する RMI のメンバーです。
- b) JEITA (電子情報技術協会 <https://www.jeita.or.jp/japanese/>)

4-2. 調達先からの紛争鉱物リスク入手方法

製品に使用する部品の調達先から、部品毎に紛争鉱物リスクの情報を入手します。

4-3. 紛争鉱物リスクが特定された場合の対処方法

調達先の紛争鉱物リスクが特定された場合は、その調達先との取引停止などを含め、然るべき対策を実施します。

5. リスク調査

当社はサプライチェーンにおける紛争鉱物リスクの調査を 2021 年から実施しています。今後は、調査活動の結果を公開するよう進めます。調査において状況の検証が必要なサプライチェーンは監査などの、然るべき対策を実施します。

以上